

技術提案特定基準

【企業及び配置予定技術者】

評価項目		判断基準	配点		
				小計	
企業 の 評価	経営基盤	①資本金10億円以上	① 3	3	
		②資本金5億円以上	② 2		
		③資本金3億円以上	③ 1		
		④上記以外	④ 0		
資格者数	①技術士の人数が15人以上	① 3	3		
	②技術士の人数が10人以上	② 2			
	③技術士の人数が5人以上	③ 1			
	④上記以外	④ 0			
		※技術士の人数は総合技術監理部門（衛生工学-廃棄物・資源循環）又は衛生工学部門（廃棄物・資源循環）のいずれかの人数であり、両方取得している者も1人として扱う。			
予定技術者の 経験及び能力	管理技術者	資格	①技術士（総合技術監理部門（衛生工学-廃棄物・資源循環）又は衛生工学部門（廃棄物・資源循環））	① 3	3
		②RCCM（廃棄物部門）	②1.5		
	経験①	①H25.4.1以降に完了した施設規模250t/日以上の実績がある。	① 3	3	
		②H25.4.1以降に完了した施設規模180t/日以上の実績がある。	②1.5		
	経験②	①H25.4.1以降に完了した実績が10件以上	① 3	3	
		②H25.4.1以降に完了した実績が5件以上	②1.5		
③上記以外		③ 0			
照査技術者	資格	①技術士（総合技術監理部門（衛生工学-廃棄物・資源循環）又は衛生工学部門（廃棄物・資源循環））	① 3	3	
	②RCCM（廃棄物部門）	②1.5			
経験②	①H25.4.1以降に完了した実績が10件以上	① 2	2		
	②H25.4.1以降に完了した実績が5件以上	② 1			
	③上記以外	③ 0			
①合計点（配置予定技術者）			20		

※業務実績は、国又は地方公共団体（一部事務組合を含む。）が発注したごみ焼却施設の整備・運営事業（DBO方式に限る）に係る発注支援業務とする。

【業務の実施方針等 及び 提案テーマ】

評価項目	判断基準	配点
業務の実施方針	業務に対する理解度，実施方針の独自性・有効性・具体性，実施体制の充実，業務履行上の配慮事項の具体性・有効性に着目し、優位な内容を高評価とする。	10
提案テーマ 1	提案テーマに関する理解度・適切性，提案内容の独自性・有効性・具体性及び説明者（管理技術者）の評価（理解度・専門性・意欲）に着目し、優位な内容を高評価とする。	20
提案テーマ 2		20
提案テーマ 3		20
②合計点（業務の実施方針等＋提案テーマ）		70

提案テーマ 1	発電した電気の有効利用に関する提案
	一般廃棄物処理事業債の運用要綱の一部が令和4年度より変更となり、売電を主たる目的とするごみ焼却発電等熱利用施設（発電量に占める売電の割合が50%を超えると見込まれる場合）については起債が認められないことになった。また、今後も希望通り売電が可能であるかどうか予測が難しい状況である。このような状況において、発電した電気を有効利用することは必要不可欠である。施設整備事業者に求める電気の有効利用手法としてどのようなことが考えられるか簡潔に記入すること。
提案テーマ 2	整備・運営費の抑制に関する提案
	整備・運営費について、その費用が右肩上がりに高騰していると思われる現状において、今後も引き続き海外の経済・物価動向、今後のウクライナ情勢や資源価格の動向、内外の感染症の動向やその影響など、わが国の経済をめぐる不確実性は極めて高い。本市の限られた財政状況の中、基本計画に示された施設整備基本方針を実現するためには、総事業費を抑制することが必要不可欠である。そのために重要であると考えられる事項及びその方針について簡潔に記入すること。
提案テーマ 3	業務スケジュールの短縮に関する提案
	本業務は令和8年3月31日までを予定しているが、その後の施設整備事業に充てられる期間は設計・試運転を含めわずか48か月である。令和6年度から予定されている建設業界の完全週休2日制の影響もあり、非常に厳しいスケジュールで施設整備を行わなければならない。 業務の品質を確保しつつ発注支援業務期間を短縮できれば、短縮分の期間を施設整備に充てることができ、結果として高品質の施設を整備することにつながる。業務を短縮するにはどのようなことが考えられるか、短縮可能な業務期間及びその手法、スケジュール案を簡潔に記入すること。

【参考見積金額】

③ 配点×最低参考見積金額÷参考見積金額 本プロポーザル参加者のうち最低参考見積金額を満点とし、他の提案者を相対的に評価する。少数の取り扱いが少数第2位を切り捨てる。	10
--	----

合計点（①+②+③）	100
------------	-----